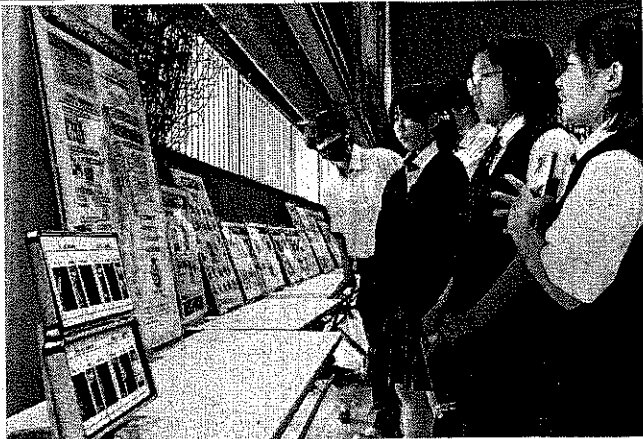


薬物の危険性学ば

1年生150人 潮来高で防止教室

薬物の実態や危険性を学ぶ「薬物乱用防止教室」が6日、潮来市須賀の県立潮来高（高野光章校長）で開かれた。潮来ライオンズクラブが後援し、同市青少年相談員が協力。1年生150人を対象に、薬物乱用防止講師の秋葉敏幸さん（69）が、スライドや映像を用いて講話した。



薬物の影響を伝える展示を見て学ぶ生徒たち。潮来市須賀

秋葉さんは、少量でも命に危険を及ぼす「コカイン」や危険ドラッグなどを紹介した。また、薬物使用者が薬物をやめても、精神的なストレスや少量のアルコールが引き金となって幻覚や妄想などが現れる「フラッシュバック」の恐ろしさも強調した。「薬物はだ

め。一生が台無しになってしまう」と手を出さないよう訴えた。生徒が、薬物の影響を伝える展示で学ぶ場面もあった。

参加した小島颯斗さん（16）は「周りの人に、薬物は健康に害があると伝えたい」と話した。

（三上山明里）

R7.6.13 (茨城新聞 16面)